



取扱説明書

LG Minibeam Nano

Lcosプロジェクター

このたびはLGプロジェクターをお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

PH150G



* M F L 6 9 1 4 9 7 2 0 *

www.lg.com/jp

P/NO : MFL69149720 (1608-REV00)

ライセンス

サポートされるライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.com/jpでご確認いただけます。

 **DOLBY DIGITAL PLUS** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DivX Certified® デバイスは、DivX® の動画再生における厳密なテストに合格した製品です。

購入したDivX映画を再生するには、まずお客様のデバイスをvod.divx.comで登録してください。お客様のデバイスにあるセットアップメニューのDivX VODセクションに、お客様の登録コードが記載されています。

DivX Certified® は、プレミアムコンテンツを含む高画質HD 1080pのDivX® の動画を再生。

DivX®、DivX Certified®、関連ロゴは、DivX, LLC の商標であり、使用には許可が必要です。

DivXの特許 (7,295,673; 7,515,710; RE45,052; およびWebサイト (www.divx.com/patents) の掲載項目) によって保護されています。



HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの登録商標または商標です。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

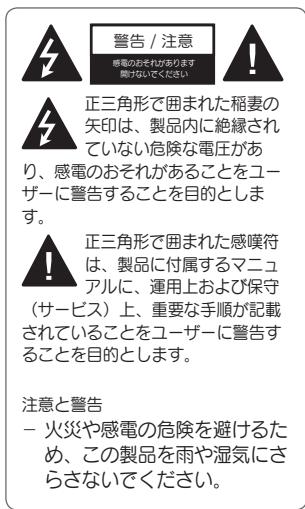


- 以下の図は、実際のプロジェクターと異なる場合があります。
- 実際のプロジェクターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、このマニュアルで示す内容と多少異なる場合があります。

安全上のご注意

安全上の注意事項を正しく守り、事故が発生したり、プロジェクターを誤つて使用したりすることがないようにしてください。

- 下に説明するように、安全上のご注意には「注意」と「警告」の2種類があります。
 - △ 警告**：指示に従わないと、死亡または重傷を負うおそれがあります。
 - △ 注意**：指示に従わないと、ケガまたは製品の損傷の原因となります。
- 取扱説明書をよく読み、必要な際に参照できるよう保管しておいてください。



この「安全上のご注意」をお読みください。

この「安全上のご注意」を保管してください。

すべての警告に従ってください。

この「安全上のご注意」に従ってください。

室内での設置場所について

△ 警告

- プロジェクターを屋外で使用したり、湿気や水にさらしたりしないでください。
 - 本製品は、防水仕様ではないので、火災や感電の原因になる場合があります。
- 直射日光の当たる場所、火気（ラジエーター、火、ストーブなど）の近くに置かないでください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
- エアロソルなどの引火性溶剤をプロジェクターの近くで噴射しないでください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。

4 安全上のご注意

- プロジェクターを小さなお子様に触れさせないようにしてください。
 - 製品が落下して、死亡または傷害を負う原因となるおそれがあります。
- 通気性が悪い場所（本棚やクローゼットなど）や、カーペット、クッションの上には設置しないでください。
 - 通気性が不十分な場合、内部温度の上昇により発火するおそれがあります。
- 加湿器やキッチンカウンターなど、蒸気、油、油煙の発生源となる物の近くに製品を置かないでください。
 - 火災、感電、腐食の原因となるおそれがあります。
- 油や油煙の発生源の近くの壁または天井には本製品を取り付けないでください。
 - 製品が破損したり落ちたりして、重大なケガの原因となるおそれがあります。
- ほこりの多い場所に置かないでください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
- 製品がぬれるような湿度の高い場所（浴室など）では使用しないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- テーブルクロスやカーテンなどによって排気口が塞がれないようにしてください。
 - 通気性が不十分な場合、内部温度の上昇により発火するおそれがあります。
- 十分な通気性を確保するため、プロジェクターの周りは周囲30cm以上の空間を空けて設置してください。
 - これにより、内部温度の上昇による発火を防ぎます。

△ 注意

- テーブルや棚にプロジェクターを配置するときは、プロジェクターを端に置かないでください。
 - バランスがくずれてプロジェクターが落下し、ケガや製品の破損の原因となるおそれがあります。必ずプロジェクターに適したプロジェクターキャビネットまたはスタンドを使用してください。
- プロジェクターを移動するときは、電源を切って、電源プラグとコードを取り外してください。
 - 電源コードが破損し、火災や感電の原因となる場合があります。
- 不安定な棚や斜面など、不安定で振動する面にプロジェクターを置かないでください。
 - プロジェクターが落下してケガの原因となることがあります。
- プロジェクターに外部デバイスを接続する際には、プロジェクターがひっくり返らないように注意してください。
 - ケガやプロジェクターの損傷の原因になる可能性があります。

電源



警告

- 主電源からのデバイスの取り外し
 - 電源プラグは電源を切断する装置です。緊急時に備えて、電源プラグは簡単に手が届く状態にしておく必要があります。
 - アース線を接続してください（アースされないデバイスを除きます）。
 - アース線を接続し、感電を防いでください。
装置を設置できない場合は、専門の電気技師に別途ブレーカーの取り付けを依頼してください。
電話線、避雷針、ガス管に接続することでプロジェクターを接地しようとしてください。
 - 電源プラグはコンセントに完全に差し込んでください。
 - 完全に差し込まないと、火災の原因となることがあります。
 - 電源コードに重いものを乗せないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 濡れた手では電源プラグに触れないでください。
 - 感電の原因になるおそれがあります。
 - タコ足配線をしないでください。
 - タコ足配線をすると、コンセントが加熱し、火災の原因になるおそれがあります。
 - ACアダプター、電源プラグ、使用中のコンセントがほこりや異物などで汚れないように注意してください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
 - プロジェクターまたはACアダプターから煙が出たり、異臭がしたりする場合は、直ちに製品の使用を停止してください。コンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにお問い合わせください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
 - 主電源をオフにするには、電源プラグを取り外します。電源プラグは、手の届く場所に配置する必要があります。

6 安全上のご注意

⚠ 注意

- ACアダプターまたは電源コードを抜くときには常にプラグを持つてください。
 - コードが損傷すると、火災や製品破損の原因となるおそれがあります。
- ACアダプターの電源コードを曲げたままにしないでください。
 - 電源コードが長期間過度に曲がったままになっていると、コードの内部が破損することがあります。火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードとプラグが損傷していないこと、電源コードとプラグを改造したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、はさんだり、加熱したりしていないことを確認してください。コンセントがゆるい場合は、本製品を使用しないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードを加熱する機器から離してください。
 - コードのおおいが溶けて、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 誰も電源コードでつまずいたり電源コードを踏みつけたりしない場所にプロジェクターを配置し、電源コードとプラグの損傷を防いでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差ししてプロジェクターの電源をオンオフしないでください（電源プラグをスイッチのように使用しないでください）。
 - 感電や製品の損傷の原因になることがあります。
- 電源プラグがコンセントに差し込まれているときに、反対側に導体を差し込まないでください。また、電源プラグをコンセントから抜いた直後に電源プラグに触れないでください。
 - 感電の原因になるおそれがあります。
- 必ずLG Electronicsが提供した電源コードを使用してください。他の電源コードを使用しないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ACアダプター、電源コード、またはプロジェクターの内部に水または異物が入った場合は、電源ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにしてください。すべてのケーブルを取り外し、カスタマーセンターにお問い合わせください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。

- ACアダプターの表面は熱くなります。ACアダプターは、お子様の手が届かない場所に置き、使用中に触らないようにしてください。
- 電源装置（ACアダプター、電源コードなど）を分解しないでください。
 - 電源コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ACアダプターと電源コードをしっかりと接続します。
 - そうしないと、製品の障害や火災の原因になるおそれがあります。
- 破損を防ぐために、電源コードやACアダプターの上に重いものを置いたり圧力をかけたりしないでください。
 - 火災が発生したり、製品が損傷することがあります。
- ACアダプターは、必ずLG Electronics, Inc.が提供、もしくは認定したものを使用してください。
 - 他のACアダプターを接続すると、画面がちらつくことがあります。

使用時の注意事項

▲ 警告

- 液体を含むもの（花瓶、植木鉢、カップ、化粧品、薬品、装飾品、ろうそくなど）を、プロジェクターの上に置かないでください。
 - こぼすなどして、液体がかかると、火災、感電、ケガの原因となるおそれがあります。
- 強い衝撃を与えたりキャビネットが損傷した場合は、電源をオフにして電源コードをコンセントから引き抜き、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 感電の原因になるおそれがあります。
- 金属製のもの（硬貨、ヘアピン、金属片など）や可燃性のもの（紙やマッチなど）をプロジェクターに差し込まないでください。
 - 感電や火災の原因となるおそれがあります。
- リモコンの古い電池を新しい電池と交換するとき、お子様が電池を誤飲しないように注意してください。電池はお子様の手の届かない場所に置いてください。
 - お子様が電池を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。

8 安全上のご注意

- 本製品を分解、改造しないでください。
 - 感電のおそれがあります。また、分解、改造による故障やケガに対しては、弊社は一切の責任を負いません。
- 製品の使用中にレンズを直接見ないでください。
 - 明るい光によって目を痛めることがあります。
- ランプがオンになっているとき、またはオフにした直後は、非常に高温になっているため排気口やランプに触れないでください。
- プロジェクターがある部屋でガス漏れが発生した場合は、プロジェクターまたは電源コンセントに触れないでください。窓を開けて換気してください。
 - 火花が火災や火傷の原因となるおそれがあります。
- 雷雨の発生中は、コンセントから電源コードを抜いてください。
 - 感電またはプロジェクターの破損の原因になるおそれがあります。
- 強い磁場を生じさせる電子デバイスの近くでプロジェクターを使用しないでください。
- プロジェクターの梱包に使用されているプラスチックフィルムは、お子様の手の届かない場所においてください。
 - 安全に扱わないと、窒息の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターが動作しているときには、プロジェクターの上に長時間手を置かないでください。
- プロジェクターにゲームコンソールを接続してゲームをプレイするときには、画面の対角線の長さの4倍以上の距離を維持することをお勧めします。
 - 接続ケーブルが十分に長いことを確認してください。長さが短いと、製品が落下して、傷害を負ったり、製品が損傷することがあります。
- プロジェクターまたはバッテリーが内蔵されたリモコンを高温の環境に置かないでください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。

 注意

- プロジェクターに重いものをのせないでください。
 - プロジェクターが損傷するおそれがあります。
- 搬送中にレンズに衝撃を与えないように注意してください。
- レンズに触れないでください。
 - レンズが損傷する可能性があります。
- ナイフやハンマーなどの鋭利な工具をプロジェクターに使用しないでください。製品が損傷することがあります。
- 画面に映像が映らない場合や音が聞こえない場合は、プロジェクターの使用を停止してください。プロジェクターの電源を切ってコンセントから電源コードを抜き、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターの上にものを落したり、プロジェクターに何かをぶつけたりしないでください。
 - 故障やケガの原因となるおそれがあります。
- 画面の対角線の長さの5~7倍以上の距離で視聴することをお勧めします。
 - 至近距離で長時間画面を見続けると、眼精疲労、視力の低下のおそれがあります。
- プロジェクターが発する光線の至近距離にものを置かないでください。
 - プロジェクターの光線に長時間さらされると火災の原因となるおそれがあります。さらに、反射熱によってレンズが過熱して損傷するおそれがあります。AV機能を無効にして、映写を一時的に停止するか電源を切ってください。
- 音量を上げたままプロジェクターを起動しないでください。
 - 大音量で聞くと聴力の低下を起こすおそれがあります。
- プロジェクターの近くで高電圧の電子機器を使用しないでください（電気虫取り器など）。製品が誤作動を起こすことがあります。

清掃

⚠ 警告

- ・ 清掃時には、プロジェクターに水を吹き付けないでください。プロジェクターに液体が入らないようにしてください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・ プロジェクターから煙が出たり、異臭がしたりするなどの異常が発生した場合、またはプロジェクター内に異物が入った場合は、プロジェクターの電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・ レンズのほこりや汚れを除去するには、エアスプレーや、レンズ清掃用化学薬品かアルコールを含ませたやわらかい布か綿棒を使用してください。

⚠ 注意

- ・ 製品内部の清掃のため、年に一度弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - プロジェクターを長期間清掃しないと、ほこりが内部にたまり、火災やプロジェクターの損傷が発生するおそれがあります。
- ・ 筐体などのプラスチック部分を清掃するときは、まずコンセントから電源プラグを抜いて、やわらかい布で拭いてください。液体スプレーを使用したり、ぬれた布で拭いたりしないでください。ガラスクリーナー、自動車用または工業用のポリッシュ、研磨剤、ワックス、ベンゼン、アルコールなどを決して使用しないでください。プロジェクターが損傷する可能性があります。
 - 火災、感電、製品の破損（変色や変形、腐食）が生じるおそれがあります。
- ・ 製品を清掃する前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 感電するおそれがあります。

その他



警告

- 一部のユーザーは、ビデオゲームで点滅する光や特定のパターンを視聴したときに発作その他の異常な症状を起こす可能性があります。
- 外出するときは、プロジェクターを動物が届かない場所に置き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 破損した電源コードを使用すると、ショートや火災の原因となるおそれがあります。
- 精密な電子機器または弱い無線信号を出すデバイスの近くでプロジェクターを使用しないでください。
 - 製品の動作に影響し、異常が発生するおそれがあります。
- 専門の技術者以外、プロジェクターの分解や改造を行わないでください。診断、調整、修理が必要な場合は、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 適切な通気のため、通気口をふさがないでください。内部の過熱により火傷を負う可能性があります。
- ランプの破損を避けるために、電源を切った、内部の温度が下がるまで3分間以上は電源コードを抜かないでください。
- レンズに触れないでください。やけどやレンズの損傷の原因となるおそれがあります。使用中や使用直後は、レンズや装置が熱くなることがあります。装置は、注意して扱い、適切に冷却してください。
- アース付きコンセントにのみ接続してください（アースされないデバイスを除きます）。
- 排気口にものを入れたり覆ったりしないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 最適に使用するために、すべてのメンテナンスガイドラインに従い、点検整備は、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
- ランプには水銀が含まれています。地域や政府の法律に従って処分する必要があります（LEDモデルは該当しません）。
- パッテリーはお子様の手の届かない場所で保管してください。
 - ケガや製品の損傷の原因になる可能性があります。

12 安全上のご注意

⚠ 注意

- プロジェクターを長時間屋外で使用または保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池と一緒に使用しないでください。また、異なる種類の電池を同時に使用しないでください。
 - バッテリーの破裂や液漏れが破損やケガの原因となるおそれがあります。
- 製品を長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - ほこりがたまると、過熱、発火、絶縁不良のために火災が発生したり感電したりするおそれがあります。
- 電池は指定されたタイプのものを使用してください。
 - バッテリーの破裂や液漏れが破損やケガの原因となるおそれがあります。
- バッテリーを交換するときには同じ種類のバッテリーを使用してください。（バッテリーの種類：CR2032/3 V）
 - バッテリーの接触不良の場合、バッテリーが短時間で消耗したり、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- 使用済みバッテリーは適切に破棄してください。
 - 爆発や火災の原因となるおそれがあります。廃棄方法は、国や地域によって異なります。バッテリーは指示に従つて破棄してください。
- バッテリーを投げたり分解したりしないでください。
 - バッテリーの損傷のため火災や爆発が発生するおそれがあります。
- バッテリーは、鍵やクリップなどの金属類の近くに保管しないでください。
 - 過度な電流により、温度が急激に上昇し、火災が発生したり火傷を負う可能性があります。
- バッテリーは、ヒーターなどの熱源の近くに保管しないでください。
 - 火災が発生したり、電池が爆発、損傷することがあります。
- バッテリーを温度が60 °C以上になる場所、または湿度が高い場所に保管しないでください。
 - 爆発や火災の原因となるおそれがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられていることを確認してください。
 - 爆発や火災の原因となるおそれがあります。
- バッテリーを正しく交換しないと、火災の原因となるおそれがあります。
- バッテリー：アクセサリ（バッテリーなど）は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。

LEDリスクグループ2 (IEC62471)

注意：本製品から危険な光学的放射線が放出される可能性があります。動作中のランプを見つめないでください。目を傷めるおそれがあります。

目次

<u>ライセンス</u>	<u>2</u>	<u>プロジェクトを使用する</u>	<u>30</u>
<u>安全上のご注意</u>	<u>3</u>	バッテリーの使用	30
<u>準備</u>	<u>15</u>	– 充電式 電池	30
付属品	15	バッテリー使用時間に関する情	
付属品以外に必要なもの	17	報	31
各部の名称と位置	18	プロジェクトの視聴	32
ジョイスティックボタンの使用	21	– プロジェクターの電源をオン	
– 基本機能	21	にする	32
– メニューの調節	22	– 映像の焦点と位置を調整する	
LED電源インジケーター	22	– プロジェクターでの視聴	33
設置	23	追加オプション	34
– 設置に関するご注意	23	– アスペクト比(縦横比)を調整	
– 画面サイズに対する映写距離	24	する	34
– 三脚を使用してプロジェクタ	25	– 台形補正機能の使用	35
– を設置する	25	– 入力デバイスを変更する	36
– ケンジントン(Kensington)	26	– ブランク機能	38
セキュリティシステム	26	クイックメニューを使用する	39
<u>リモコン</u>	<u>27</u>	<u>エンターテイメント</u>	<u>40</u>
		SCREEN SHAREの使用	40
		プロジェクトのBluetoothを	
		設定する	41
		– Bluetoothデバイスの検索	
		と接続	42
		– 登録済みのデバイスリスト	
		のBluetoothデバイスの接	
		続、切断、または削除	44
		– AVシンクの調整	45

14 目次

<u>マイメディア</u>	<u>46</u>	<u>メンテナンス</u>	<u>89</u>
使用する前に	46	お手入れ	89
– USBデバイスの接続	46	– レンズのお手入れ	89
– USBデバイスの切断	46	– 壶体のお手入れ	89
マイメディアを使用するには	48	<u>トラブルシューティング</u>	<u>90</u>
– ビデオを再生する	52	– 全般	90
– 写真を表示する	58	– 画質	90
– 音楽を再生する	62	– サウンド	91
– ファイルを表示する	66	– PC接続の問題	91
<u>設定のカスタマイズ</u>	<u>70</u>	– マイメディアでのムービーの 再生に関する問題	92
設定	70	<u>仕様</u>	<u>93</u>
映像設定	71	Wireless モジュール仕様	94
オーディオ設定	77		
タイマー設定	78		
ワイヤレス設定	79		
[設定1]の設定	81		
[設定2]の設定	82		
<u>デバイスを接続する</u>	<u>84</u>		
HDレシーバー、DVDプレーヤ			
–、外部デバイスへの接続	85		
– HDMI接続	85		
PCへの接続	85		
– HDMI接続	85		
ノートPCの接続	86		
– HDMI接続	86		
ヘッドホンの接続	87		
携帯電話のミラーリング機能の 使用	88		
– MHL/スリムポートの接続	88		

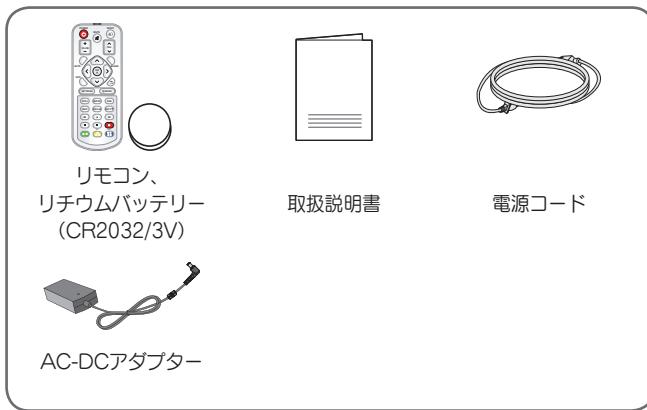
準備

画像は実際の製品とは若干異なる場合があります。

付属品

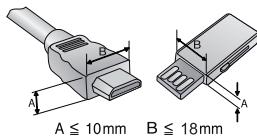
箱を開けた際は、付属品をご確認ください。万が一付属品が不足している場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。

付属品は事前の通知なしに変更されることがあります。



16 準備

- HDMIケーブルの接続または、USBケーブル、USBフラッシュドライブの接続の際は、幅が18mm以下で高さが10mm以下の製品を使用してください。USBケーブルまたはUSBフラッシュドライブがプロジェクターのUSB端子に適合しない場合、USB 2.0対応の延長ケーブルをご用意ください。
- HDMIロゴ付きの認証済みケーブルを使用してください。
- 認証済みのHDMIケーブルではない場合、画面が表示されなかつたり、接続エラーが起きることがあります。
(推奨のHDMIケーブルのタイプ)
 - 高速HDMI®/™ケーブル
 - イーサネット対応高速HDMI®/™ケーブル



付属品以外に必要なもの

プロジェクターを使用する際、使用する機能や環境により、以下のアクセサリー部品が必要になることがあります。アクセサリー部品の購入は、製品をお求めいただいた販売店または、電気店、オンラインショッピングサイト等にお問い合わせください。



プロジェクター用の
スクリーン



三脚



HDMIケーブル



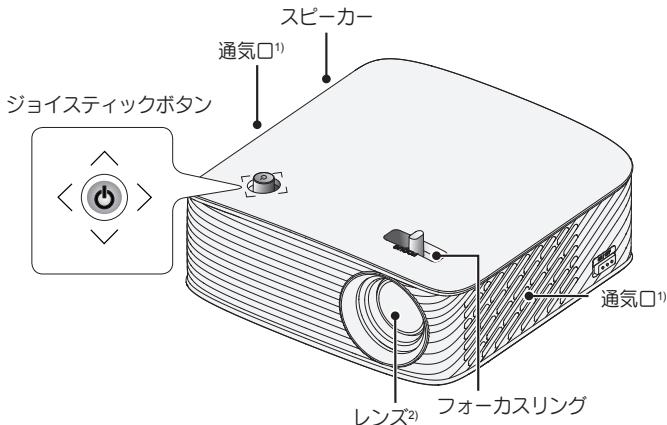
MHLまたは
スリムポートケーブル

18 準備

各部の名称と位置

本製品は高精度な技術で作られており、画面の一部にごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点が見えることがあります。これは製品の特性であり、製品不良、故障ではありません。

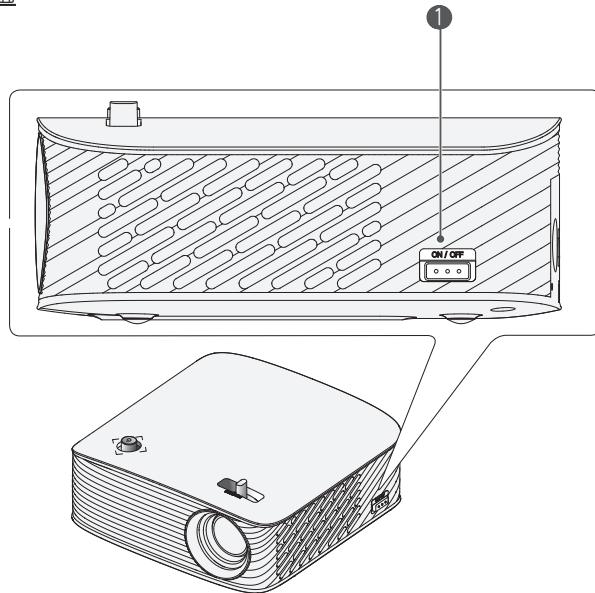
本体



1) 通気口付近は温度が上昇するため、通気口付近にものを置いたり、通気口から出る風を浴びないようにしてください。

2) プロジェクターを使用中に、レンズに触れないでください。レンズが損傷する可能性があります。

側面



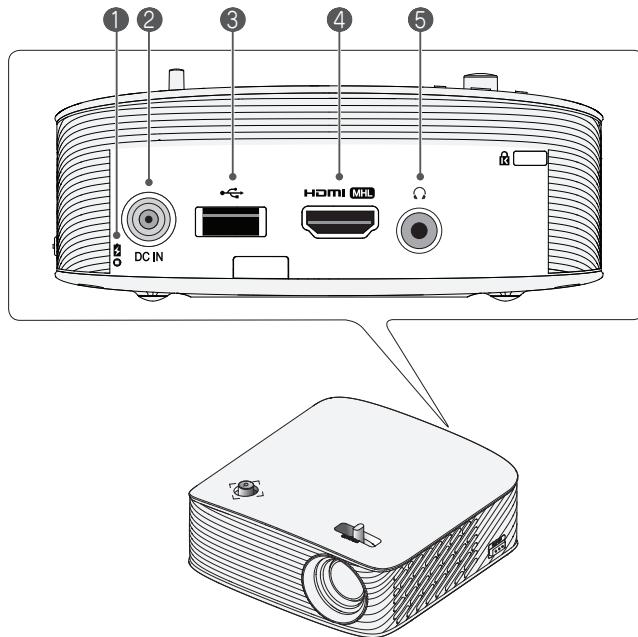
①

ON/OFFスイッチ

- ON : プロジェクターの電源をオンにし、プロジェクターをスタンバイモードにします。
- OFF : プロジェクターの電源を完全にオフにします。
プロジェクターを移動するときまたはプロジェクターを長期間使用しないときは、スイッチをOFFにしてください。

20 準備

背面



- ① バッテリー充電インジケーター
 - 赤：充電中
 - 緑：充電完了
- ② DC IN (電源コネクタ)
- ③ (USB端子)
- ④ **HDMI MHL** (HDMI/MHL入力端子)
- ⑤ (ヘッドホン端子)

ジョイスティックボタンの使用

プロジェクターを操作するには、ボタンを押すか、ジョイスティックを上下左右に動かします。

基本機能

	電源オン	プロジェクターがオフになっているときに、ジョイスティックボタンを押します。
	電源オフ	プロジェクターがオンになっているときに、ジョイスティックボタンを長押し(数秒間押す)すると電源がオフになります。(画面上にメニューが表示されているときは、長押しするとメニューを終了します。)
	音量コントロール	ジョイスティックボタンを、左右に動かすと音量の調節ができます。
	上下左右	メニューが表示されているときに前後左右に動かすと、メニュー カーソルが移動します。



ヒント

- ・ジョイスティックボタンを前後左右に動かすときに、ボタンが押された状態で操作すると、メニュー操作、音量調節ができないことがあります。

メニューの調節

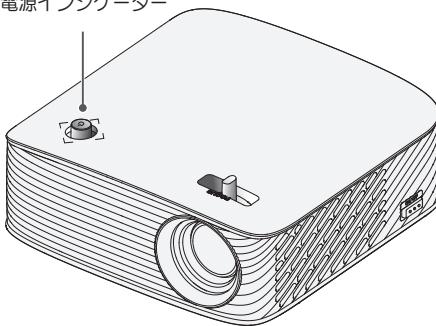
プロジェクターがオンになっているときに、ジョイスティックのボタンを1回押します。

ジョイスティックのボタンを上下左右に動かして、メニュー項目（、、、）を調整できます。目的のメニュー項目に移動し、ジョイスティックのボタンを1回押して選択します。

	 電源をオフにします	電源をオフにします。
	入力リスト	入力元を変更します。
	閉じる	オンスクリーンディスプレイをクリアし、プロジェクターの表示に戻ります。
	Settings	メインメニューを表示します。

LED電源インジケーター

LED電源インジケーター



LED電源インジケーター	
赤	電源スタンバイ状態
オフ	電源オンで作動中

設置

設置に関するご注意

- プロジェクターは通気の良い場所に配置してください。

- 内部の過熱を防ぐため、通気の良い場所にプロジェクターを設置してください。

プロジェクターの周囲にものを置かないでください。通気が妨害されることがあります。通気が妨害されると、プロジェクターの内部温度が上昇します。



- じゅうたんやラグの上にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターを高さのある安定した面の上で使用してください。



- 紙屑などの異物がプロジェクターに入らないように注意してください。



- 十分な通気性を確保するため、プロジェクターの周りは周囲30cm以上の空間を空けて設置してください。



- 高温、低温、または高湿度の場所にプロジェクターを配置しないでください。

- ほこりの多い場所にプロジェクターを配置しないでください。

- 火災の原因となるおそれがあります。

- 本製品を分解、改造しないでください。感電のおそれがあります。また、分解、改造による故障やケガに対しては、弊社は一切の責任を負いません。

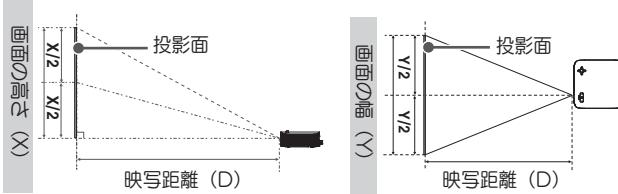
- 本製品は高精度な技術で作られており、画面の一部にごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点が見えることがあります。これは製品の特性であり、製品不良、故障ではありません。

- 電子安定器付きの照明器具や3波長形蛍光灯が設置されている場所では、リモコンが機能しないことがあります。リモコンの正常な動作のため、照明器具を、国際標準を満たした照明器具の元で使用してください。

画面サイズに対する映写距離

- 1** プロジェクターは安定した水平な場所に設置し、接続機器の近くに設置してください。
- 2** プロジェクターは投影面から適切な距離に設置してください。プロジェクターと投影面の距離によって、投影される映像のサイズが決まります。
- 3** レンズが投影面に対して水平になるようにプロジェクターを配置します。プロジェクターが水平になっていない場合、画面に映像が歪みます。歪みを修正するには、台形補正機能を使用します。
(35ページ参照)
- 4** プロジェクターおよび接続機器の電源コードをコンセントに接続します。

上向き映写の比率：100%



16:9 縦横比			
画面サイズ (mm)	画面の幅 (Y) (mm)	画面の高さ (X) (mm)	映写距離 (D) (mm)
254	221	124	335
508	443	249	686
762	664	374	1037
1016	885	499	1387
1270	1106	623	1738
1524	1328	748	2089
1778	1549	873	2439
2032	1770	998	2790
2286	1992	1123	3141
2540	2213	1247	3491

三脚を使用してプロジェクターを設置する

- ・本製品は以下のイラストのように、カメラの三脚を使用して設置できます。
- ・三脚を固定する場合は、標準サイズの長さ4.5mm以下の締め付けボルトの使用をお勧めします。締め付けボルトの最大の長さ5.5mmです。
(5.5mmより長いボルトを使用すると、プロジェクターが損傷するおそれがあります。)

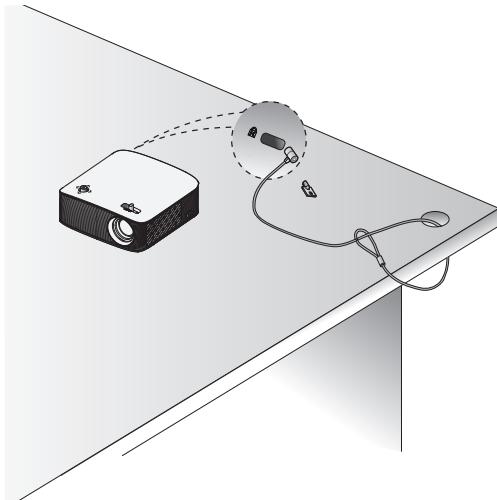


注意

- ・三脚を使用しているときは、三脚に触れないように気をつけてください。三脚が倒れてプロジェクターが損傷するおそれがあります。
- ・三脚は安定した場所に設置してください。
- ・必ず耐荷重が3kg以上の三脚を使用してください。
- ・三脚を使用して安全に使用するには、三脚の脚をできる限り広げて、安定させて設置し、プロジェクターはしっかりと固定します。
- ・三脚は別売です。

ケンジントン(Kensington)セキュリティシステム

- 本製品は、盗難防止用のケンジントンセキュリティ標準コネクタが付いています。ケンジントンセキュリティシステムのケーブルを、下記のように接続してください。
- ケンジントンセキュリティシステムの詳細な取り付けおよび使用手順については、ケンジントンセキュリティシステムセットに付属の取扱説明書を参照してください。
- ケンジントンセキュリティシステムは、別売です。

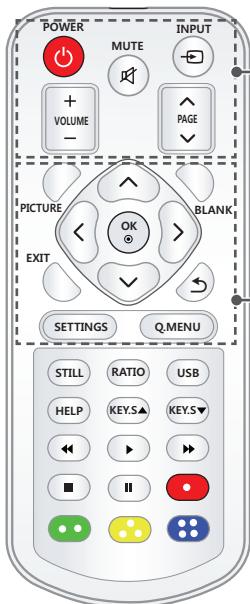
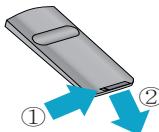


ヒント

- ケンジントンとは
ケンジントンは、ノートPC、その他の電子機器の盗難防止用のセキュリティ製品を提供する会社です。
Webサイト：<http://www.kensington.com>

リモコン

リモコンの背面にあるバッテリーカバーを開き、 \oplus 極を正しい向きにして指定されたバッテリーを挿入します。新しいバッテリーを使用します。



POWER

プロジェクターの電源のオンとオフを切り替えます。

MUTE

プロジェクターのサウンドをミュートします。

INPUT

入力元を変更します。

+VOLUME +

音量を調節します。

▲ PAGE ▼

前のページまたは次のページに移動します。

PICTURE

[投影モード]を変更します。

上/下/左/右ボタン

機能を調整したりカーソルを移動させます。

OK

現在のモードを確認したり、機能の変更を決定します。

BLANK

ブランクの画面を表示します。

EXIT

メニューを終了します。

◀ (戻る)

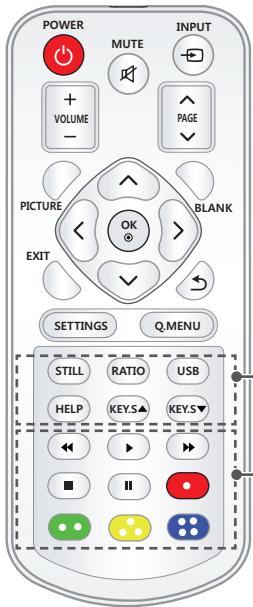
前の画面に戻ります。

SETTINGS

メインメニューを表示するか閉じます。

Q.MENU

クイックメニューにアクセスします。

**STILL**

動いている映像を静止させます
(USBモード以外のすべてのモードで使用可能)

RATIO

[アスペクト比(映像の縦横比)]を変更します。

USB

接続したUSBデバイスの内容を表示します。

HELP

自己診断を有効にします。

KEY.S ▲,▼

台形補正機能を調整します。

再生コントロールボタン

マイメディアの再生をコントロールします。

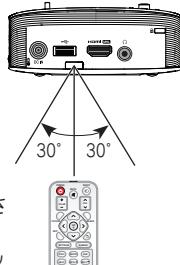
カラー ボタン

各メニューの詳細またはジェスチャーを設定します。



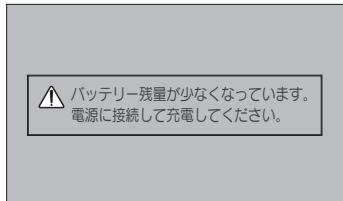
ヒント

- リモコンの最適な作動域は、リモコンのIRレシーバーに対して6m以内かつ左右それぞれ30度以内です。
- ケーブルが背面の端子に接続されている場合、リモコンの最適な作動域は、リモコンのIRレシーバーに対して3m以内かつ左右それぞれ30度以内です。
- スムーズに操作するために、IRレシーバーをふさがないようにしてください。
- リモコンをバッグに入れて持ち運ぶときは、バッグに入れたプロジェクター、ケーブル、マニュアル、その他付属品等でリモコンのボタンが押されないようにしてください。ボタンが押され続けることで、電池寿命が大幅に短くなることがあります。

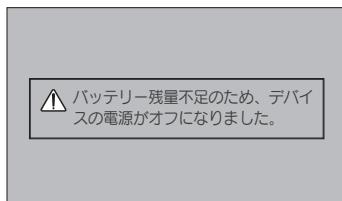


プロジェクターを使用する

バッテリーの使用



- ・バッテリーの残量が少ない時に表示されます（[エコモード]が[最大]モードに変更され、無効になります）。
- ・バッテリー残量不足のメッセージが画面に表示されたら、必ずバッテリーを充電してください。



- ・バッテリーの残量がなくなったときに表示されます。
- ・バッテリーの残量がなくなると、プロジェクターの電源が自動的にオフになります。
- ・バッテリーの残量がなくなった状態では、プロジェクターを電源に接続しないと電源をオンにすることはできません。

充電式 電池



- ・貴重な金属を再利用し、地球環境を守るために、不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へお持ち下さい。
- ・最寄のリサイクル協力店へ詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ : <http://www.jbrc.com>

バッテリー使用時間に関する情報

ステータス	時間と表示
充電中	約3時間（スタンバイ状態で充電中の場合）
使用時間	最大2.5時間 （[エコモード]>[最大]適用時）
バッテリー レベルイン ジケーター	 少       フル

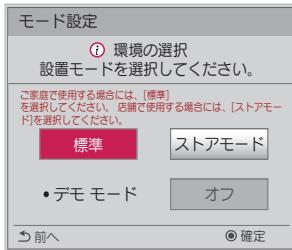
- ・プロジェクターを初めて使用するときには、バッテリーを完全に充電してください。
- ・プロジェクターを長時間使用しない場合は、事前にバッテリーを40%~50%まで充電してください。
- ・プロジェクターを電源に接続するとバッテリーが自動的に充電を開始します。
- ・本書に記載されているバッテリーの標準使用時間は、LGによる測定を基にしています。実際の時間は使用状況によって異なる場合があります。
- ・バッテリーの使用時間は、再生するコンテンツ、動作温度、使用時間、および設定によって異ります。
- ・バッテリーは消耗部品なので、寿命は徐々に短くなります。バッテリーの寿命が半分になったら、カスタマーセンターにご相談ください。
- ・製品に付属している機器以外でバッテリーを充電しないでください。バッテリーの損傷や火災の原因になるおそれがあります。
- ・必ずLG Electronics.が承認および認定したバッテリーを使用してください。火災または爆発の原因となるおそれがあります。
- ・バッテリーの液漏れまたは異臭が発生した場合は、直ちに使用を停止し、LG Electronicsカスタマーセンターにお問い合わせください。
- ・バッテリーにはリチウムイオンが含まれているので注意して扱ってください。爆発や火災の原因となるおそれがあります。

プロジェクターの視聴

プロジェクターの電源をオンにする

この取扱説明書に記載されているメニュー画面のイラストは、製品の操作方法を理解しやすくなるよう記載しています。実際の画面とは異なる場合があります。

- 1 電源コードを正しく接続します。
- 2 背面ポートエリアのON/OFFスイッチをONにし、ジョイスティックボタンまたはリモコンの**POWER**ボタンを押します（スイッチがOFFになっている場合は、プロジェクターはオンになりません）。
画面のピントを調節します。（33ページ参照）
- 3 [言語の選択]画面で、言語を選択します。
- 4 [モード設定]画面で、[標準]を選択します。



* [ストアモード]は、店頭でこの製品のデモンストレーションを行う場合に最適化されています。しばらくすると、設置モードは自動的にリセットされます。家庭で使用するには、[標準]を選択します。

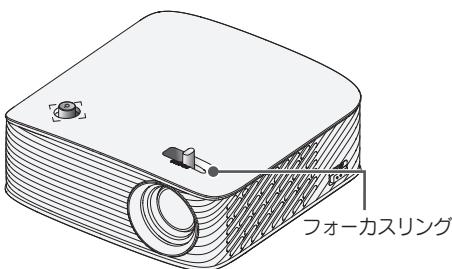
- 5 リモコンの**INPUT**ボタンを使用して、入力信号を選択します。

映像の焦点と位置を調整する

映像が画面に表示されたら、フォーカス(焦点)が合っていて画面にぴったり合っているか確認してください。

フォーカスリングを左右に回して映像のフォーカスを調整します。

フォーカスを調整するときは、プロジェクターが動かないように注意してください。



プロジェクターでの視聴

- 1** スタンバイモードの状態で、POWER  ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。
- 2** INPUT  ボタンを押して、使用する入力信号を選択します。
- 3** 映像表示中に、次のボタンでプロジェクターを操作します。

ボタン	説明
 VOLUME +	音量を調節します。
 MUTE	サウンドをミュートにします。
 Q.MENU	クイックメニューを表示します。
 RATIO	映像のアスペクト比(縦横比)を変更します。
 KEY.S ▲,▼	台形に表示されている映像を調整します。

- 4** プロジェクターの電源をオフにするには、POWER  ボタンを押します。

追加オプション

アスペクト比(縦横比)を調整する

プロジェクターを使用しているときに**RATIO**を押して、各種サイズで表示されるように映像のサイズを変更します。



ヒント

- ・ 使用可能なアスペクト比は入力信号によって異なります。
- ・ **Q.MENU**または**SETTINGS**ボタンを使用することもできます。

メニュー	説明
16:9	16:9アスペクト比に映像のサイズを変更します。
オート	映像の端の部分をはみ出すことなく、ビデオの映像をオリジナルサイズで表示します。 ・ [オート]を選択した場合、画面の周囲にノイズが表示されることがあります。
オリジナル	オリジナルの映像と同じアスペクト比で映像を表示します。
4:3	4:3に映像のサイズを変更します。
ズーム	スクリーンの幅に合わせて映像のサイズを変更します。 映像の上下端が切り取られることがあります。 ・ 映像をズームインする場合は > 、ズームアウトする場合は < ボタンを押します。 ・ 上下の位置を調整する場合は、 ▲▼ ボタンを押します。
シネマズーム1	映像をシネマスコープのアスペクト比である2.35:1で表示します。 1~16倍で表示できます。 ・ 映像をズームインする場合は > 、ズームアウトする場合は < ボタンを押します。 ・ 映像を移動するには、 ▲▼ ボタンを押します。 ・ 映像を拡大、縮小すると、映像が歪むことがあります。

台形補正機能の使用

プロジェクターと投影面が平行でない場合、画面の映像が台形になることを防止するため、映像の上端と下端の幅を台形補正で調整します。

台形補正機能では画質が低下することがあるので、プロジェクターを最適な角度で設置できないときにこの機能を使用してください。



1 KEY.S ▲、KEY.S ▼ ボタンを押して映像を調整します。

- 台形補正是-40～40で調整できます。

2 設定が完了したら、OK ◎ボタンを押します。

36 プロジェクターを使用する

入力デバイスを変更する

外部入力を選択するには

外部入力を選択します。

実際の製品の画面は、このメニューの画像とは異なることがあります。

- リモコンの INPUT → ボタンを押して[入力リスト]を表示します。
 - 接続されている入力端子がアクティブ状態で表示されます。ただし、SCREEN SHARE入力は常に有効になります。
- 機器を入力端子に接続し、リモコンの INPUT → ボタンで入力信号を選択します。

<、>ボタンで、すべての入力モードを切り替えることができます。



入力ラベルの選択

入力端子に接続されている機器名の表示を変更することができます。



- 1 リモコンの INPUT □ボタンを押して入力選択画面を表示します。
- 2 リモコンの下にある赤色のボタンを押します。
- 3 <、>ボタンで、入力ラベルを選択します。

プランク機能

プランク機能の使用

この機能は、ミーティングやトレーニング中に注意を引き付ける必要がある場合に効果があります。

- 1 **BLANK**ボタンを押します。画面全体が背景色になります。背景色を変更することができます。変更方法については、プランクの選択(下記)を参照してください。
- 2 任意のボタンを押して、プランク機能をオフにします。画面を一時的に非表示にするには、リモコンの**BLANK**ボタンを押します。プロジェクターの動作中にレンズをふさがないでください。過熱および変形したり、火災の原因になる場合があります。

プランクの選択

- 1 **SETTINGS**ボタンを押します。
- 2 \wedge 、 \vee 、<、>ボタンで、[設定2]を選択し、**OK** **◎**ボタンを押します。
- 3 \wedge 、 \vee ボタンを押して[プランク]を選択し、**OK** **◎**ボタンを押します。
- 4 \wedge 、 \vee ボタンで、設定する項目にカーソルを移動し、**OK** **◎**ボタンを押します。

クイックメニューを使用する

使用頻度の高いメニューを簡単に開くことが出来ます。

1 Q.MENUボタンを押します。

2 <、>ボタンで、メニューを選択し、OK ◎ボタンを押します。

メニュー	説明
アスペクト比	映像の縦横比を変更します。
投写位置	投写される映像の上下または左右が逆になります。
投映モード	投映モードを変更します。
サウンドモード	サウンドモードを設定します。
オフタイマー	指定した時刻にプロジェクターの電源がオフになるように設定します。
クリアボイスII	プロジェクターからの音声がクリアになります。
エコモード	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します（バッテリーの残量が少ないことを示すメッセージが画面に表示された場合、[エコモード]が[最大]モードに変更され、無効になります）。
USBデバイス	接続されているUSBデバイスを安全な方法で取り外すことができます。 （このメニューは、USBデバイスが接続されている場合のみ表示されます）。

3 ▲、▼ボタンで、設定したい項目にカーソルを移動し、OKボタンを押します。

エンターテイメント

SCREEN SHAREの使用

- 1 プロジェクターの外部入力をSCREEN SHAREに設定します。
- 2 接続するデバイスで関連するSCREEN SHARE機能を有効にします。
- 3 接続するデバイスで検索リストからプロジェクターを接続します。（プロジェクターをノートPCに接続するときは、ディスプレイに表示されるPINコードを入力します。PINを要求するメッセージは最初に接続したときにのみ表示されます）。
- 4 目的のデバイスがプロジェクターを認識すると、SCREEN SHAREが開始されます。



注意

- Windows 7/8/8.1/10 は、SCREEN SHAREと互換性があります。ただし、他のバージョンのWindowsおよび他のオペレーティングシステムによってはSCREEN SHAREと互換性がない場合があります。
- Android バージョン4.0以降(Ice Cream Sandwich、Jellybean、KitKat、Lollipop、Marshmallow)のLGのAndroidデバイスは、互換性があることが保証されています。
- SCREEN SHAREを介して接続するときには、デバイスをプロジェクターの近くに置いてください。
- 応答速度および画像の品質はユーザーの使用環境に応じて異なります。
- 接続するデバイスの詳細については、取扱説明書を参照してください。
- 特定のWindows 8.1ノートPCでは、ワイヤレス接続中にデバイス情報を初期化するときに再接続が困難になることがあります。この場合、登録済みのデバイスを削除してから再接続することをお勧めします。

プロジェクターのBluetoothを設定する

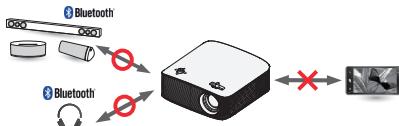
Bluetoothで接続してBluetoothオーディオデバイスから音声を出力できるようにします。

- リモコンの**SETTINGS**ボタンを押し、[ワイヤレス]メニューの [Bluetooth]を[オン]に設定します。



ヒント

- 弊社で動作確認しているデバイスは次のとおりです：LG BTS1、LG HBS-700、LG HBS-730、LG HBS-800（購入可能なモデルは地域によって異なります）。
- 機器によっては互換性の問題で、正常に動作しない場合があります。
- リモコンで接続されているデバイスの音量を調整できます。
- デバイスをワイヤレスで接続するときに、デバイスの接続に失敗した場合は、デバイスが電源に接続されていることおよびBluetoothオーディオデバイスが正常に動作していることを確認してください。
- Bluetoothがオンになっている場合、プロジェクターの電源を入れたときに、プロジェクターが最後に接続されたBluetoothデバイスに自動的に接続されます（最後に接続されたBluetoothデバイスの電源がオンになっていることも確認してください）。
- このプロジェクターは、LG TV音声同期機能をサポートしていません。LG TV音声同期機能をサポートする製品を使用するには、LG TVモードではなく一般的なBluetoothモードを使用してください。
- Bluetooth機能は、BluetoothスピーカーまたはBluetoothヘッドセットに本製品を接続するために使用します。Bluetooth機能を使用して本製品を携帯電話に接続することはできません。



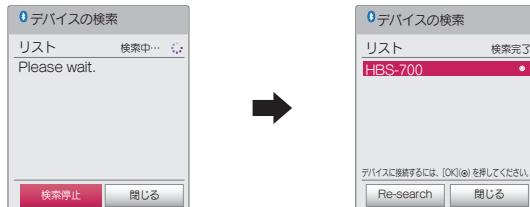
Bluetoothデバイスの検索と接続

SETTINGSボタンを押してメインメニューを開き、[ワイヤレス] → [デバイスの検索]に移動し、近くにあるBluetoothオーディオデバイスを検索して、検出されたデバイスをプロジェクトに接続します。
(デバイス名が20文字より長い場合は、20文字まで表示されます)。

- 1 Bluetoothデバイスをペアリングモードに設定し、[デバイスの検索]を選択します。
 - ・[検索停止]を選択して、それまでに検出されたデバイスを表示します。
 - ・デバイスが検出されていない場合は、デバイスの電源がオンになっていてペアリングモードになっていることを確認します。
 - ・デバイスの検索にかかる時間は、信号の強さとデバイスの数によって異なります。



- 2** 検索が完了したら、Bluetoothデバイスを選択して接続できます。
- ・[検索停止]を選択すると検索を中止できます。
 - ・デバイスへの接続にかかる時間は、信号の強さとデバイスの数によって異なります。



- 3** Bluetoothオーディオデバイスの接続が成功すると、オーディオデバイスからプロジェクターの音声が出力されます。
- ・接続されたBluetoothデバイスは、[登録済みのデバイスリスト]に自動的に追加されます。登録されたBluetoothデバイスは、[登録済みのデバイスリスト]から選択するだけで接続できます。それらを検索する必要はありません。
 - ・接続されたデバイスは、SETTINGSボタンを押してメインメニューを開き、[ワイヤレス] → [登録済みのデバイスリスト]からのみ切断できます。

登録済みのデバイスリストのBluetoothデバイスの接続、切断、または削除

SETTINGSボタンを押してメインメニューを開き、[ワイヤレス] → [登録済みのデバイスリスト]で、Bluetoothデバイスは接続された順序で表示され、それらを選択するだけで同じデバイスを再接続できます。もう一度検索する必要はありません。



接続中

[登録済みのデバイスリスト]からBluetoothデバイスを選択して接続します。

- ・デバイスの特性に応じて登録済みBluetoothデバイスは、自動的に接続を開始します（Bluetoothデバイスの取扱説明書を参照してください）。
- ・[中止]を選択すると接続処理を直ちに中止します。
- ・デバイスへの接続にかかる時間は、信号の強さとデバイスの数によって異なります。

切断

デバイスを切断するには、[切断]を選択します。

- ・デバイスは、[登録済みのデバイスリスト]からのみ切断できます。

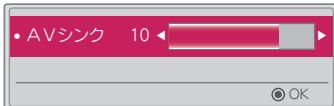
削除

任意の登録済みデバイスを削除するには、[マーク付きを削除]または[すべて削除]を選択します。

- マーク付きを削除：選択したデバイスを削除するにはリモコンの赤色ボタンを押します。
- すべて削除：すべての登録済みデバイスを削除するには、[登録済みのデバイスリスト]で[すべて削除]を選択します。

AVシンクの調整

Bluetoothデバイスが接続されたら、SETTINGSボタンを押してメインメニューを開き、[ワイヤレス] → [AVシンク]に移動し、ビデオとBluetoothヘッドセットのサウンドの間の同期を調整します。



- この機能はBluetoothデバイスが接続されているときのみ使用できます。
- オーディオの同期は製造元によって異なる場合があります。
- 接続されているUSBドライブからビデオを再生するときには、[オーディオ設定]メニューを使用して、[AVシンク]を調整することもできます。

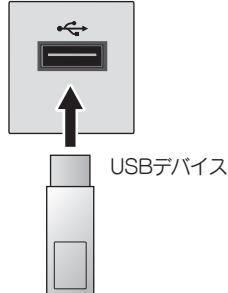
マイメディア

使用する前に

USBデバイスの接続

USBデバイス（外付けハードディスクドライブ、USBメモリ）をプロジェクターのUSB端子に接続し、USBデバイスに保存されているコンテンツファイルをプロジェクターで再生できます。

USBデバイスにデータを書き込んだり、USBデバイス上のデータを削除したりすることはできません。イラストに示しているようにUSBデバイスを接続します。



USBデバイスの切断

- 1 Q.MENUボタンをクリックします。
- 2 <、>ボタンで、[USBデバイス]に移動し、OK ◎ボタンを押します。
- 3 取り外す前にUSBを選択し、USBデバイスの停止確認が終わるまで待って、USBを切断しなおします。



ヒント

- 強制的にUSBデバイスを取り外すと、プロジェクターやUSBストレージデバイスでエラーが発生することがあります。
- USBデバイスの削除を選択すると、USBデバイスは読み取れなくなります。USBストレージデバイスを取り外し、もう一度接続しなおします。

USBデバイスの使用上のヒント

- USBストレージデバイスが自動認識プログラムを内蔵していたり、独自のドライバーを使用している場合、機能が使用できない可能性があります。
- 一部のUSBストレージデバイスは、機能しないか、機能が使用できない場合があります。
- USB延長ケーブルを使用すると、USBデバイスが正常に認識されない場合や、正しく機能しない場合があります。
- Windows FAT32またはNTFS形式でフォーマットされているUSBストレージデバイスのみを使用してください。
- 外部USB ハードディスクドライブの場合、定格電圧5V未満、定格電流500mA未満のデバイスを使用することをお勧めします。
- ハードディスクは電源コードを接続するものを使用してください。USB接続のみでの電源供給は電力が不足して動作が不安定になったり、プロジェクトが認識できない場合があります。また、USBハブを介しての接続はサポートしていません。直接プロジェクトに接続してください。
- 32GB以下のUSBフラッシュメモリーまたは2TB以下のUSB ハードディスクドライブを使用することをお勧めします。
- 省エネ機能付きUSB ハードディスクドライブが正常に動作しない場合、電源をオフにしてもう一度オンにします。詳細については、USB ハードディスクドライブの取扱説明書を参照してください。
- USBストレージデバイスのデータは破損する可能性があるため、重要なファイルは、あらかじめバックアップしてください。データの破損、損失に関するは、保証の対象外になります。

マイメディアを使用するには

- 1 リモコンの**SETTINGS**ボタンを押します。
- 2 [マイメディア]を選択します。

リストから再生するファイルを選択します。選択したファイルを視聴します。
ファイルの再生中にQ.MENUボタンを押すと、再生に関連する設定ができます。

マイメディアでサポートされるファイル形式

- 最大データ転送レート：20 Mbps（メガビット/秒）
- サポートされる外部字幕形式：*.smi、*.srt、
.sub (MicroDVD、SubViewer 1.0/2.0)、.ass、*.ssa、
.txt (TMPlayer)、.psb (PowerDivX)
- サポートされている内部字幕形式：SRT/ASS/SSA (DivX6から生成される内部字幕をサポート)

サポートされている動画ファイル形式

最大：1920 x 1080 @ 30p (Motion JPEG 640 x 480 @ 30pのみ)

拡張子	コーデック	
.ASF .WMV	ビデオ	VC-1アドバンストプロファイル、VC-1シンプルおよびメインプロファイル
	音声	WMA Standard、WMA 9 Professional
.DIVX .AVI	ビデオ	DivX3.11、DivX4、DivX5、DivX6、XVID、H.264/AVC
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital
.MP4 .M4V .MOV	ビデオ	H.264/AVC、MPEG-4 Part 2
	音声	AAC
.MKV	ビデオ	H.264/AVC
	音声	HE-AAC、Dolby Digital
.TS .TRP .TP .MTS .M2TS	ビデオ	H.264/AVC、MPEG-2、VC-1
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC
.VOB	ビデオ	MPEG-1、MPEG-2
	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、DVD-LPCM
.MPG .MPEG	ビデオ	MPEG-1
	音声	MPEG-1 Layer I、II

サポートされている音声ファイル形式

ファイルタイプ	項目	情報
MP3	ビットレート	32kbps~320kbps
	サンプリングレート	32kHz~48kHz
AC3	ビットレート	32kbps~640kbps
	サンプリングレート	32kHz、44.1kHz、48kHz
MPEG	ビットレート	32kbps~448kbps
	サンプリングレート	32kHz~48kHz
AAC、HEAAC	ビットレート	24kbps~3844kbps
	サンプリングレート	8kHz~96kHz
CDDA	ビットレート	1.44kbps
	サンプリングレート	44.1kHz
LPCM	ビットレート	1.41Mbps~9.6Mbps
	サンプリングレート	マルチチャンネル： 44.1kHz、88.2kHz/ 48kHz、96kHz ステレオ：176.4kHz、192kHz

サポートされている画像ファイル形式

ファイルタイプ	項目	情報
2D (jpeg, jpg, jpe)	ファイルタイプ	SOF0 : ベースライン、SOF1 : 拡張シーケンシャル、SOF2 : プログレッシブ
	画像解像度	最小 : 64 x 64 最大 : 標準タイプ : 15360 (W) x 8640 (H) プログレッシブタイプ : 1920 (W) x 1440 (H)
BMP	画像解像度	最小 : 64 x 64 最大 : 9600 (W) x 6400 (H)
PNG	ファイルタイプ	インターレース、非インターレース
	画像解像度	最小 : 64 x 64 最大 : インターレース : 1200 (W) x 800 (H) 非インターレース : 9600 (W) x 6400 (H)

* BMP形式およびPNG形式のファイルは、JPEGより表示が遅い場合があります。

ビデオを再生する

[映画リスト]では、接続されたUSBデバイスに保存されている動画を鑑賞できます。

動画の再生中でも設定の変更することができます。



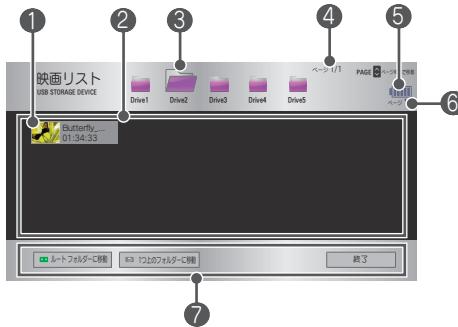
ヒント

- 動画ファイル再生のヒント
 - ユーザーが作成した字幕は正常に動作しないことがあります。
 - ビデオファイルと字幕ファイルは、同じフォルダーに置く必要があります。また、字幕を正しく表示するには、ビデオファイルと字幕ファイルの名前を同じにする必要があります。
 - GMC (Global Motion Compensation) または Qpel (Quarterpel Motion Estimation) が含まれているストリームはサポートしていません。
 - H.264/AVCプロファイルレベル4.1以下のみがサポートされます。
 - 50GB (ギガバイト) を超えるビデオファイルの再生はサポートされていません。ファイルサイズの制限は、エンコーディング環境によって異なります。
 - DTS音声コーデックはサポートされていません。

映画リストの参照

接続されているデバイスに保存されているビデオファイルを再生します。

- 1 USBストレージデバイスを接続します。
- 2 リモコンのUSBボタンを押します。
- 3 <、>ボタンで、[映画リスト]を選択し、OK ◎ボタンを押します。
- 4 ▲、▼、<、>ボタンで、目的のファイルを選択し、OK ◎ボタンを押します。



番号	説明	
①	サムネイル 破損している、またはサポートされていない形式のファイル	
②	ファイルリスト	
③	上位のフォルダーに移動します。	
④	現在のページ/フォルダーの合計ページ	
⑤	バッテリー残量を表示します。	
⑥	現在のページ/ファイルの合計ページ	
⑦	この画面上でのリモコン操作が表示されます。 表示されたボタン（緑色、戻る、EXITボタン）を押すと該当の動作が実行されます。	

5 次のボタンを使用して、再生を制御します。



項目	説明
◀▶	現在の再生位置を表示します。<ボタンで早戻し、>ボタンで早送りができます。
■	再生を停止して、[映画リスト]に戻ります。
▶	通常の再生に戻ります。
⏸	再生を一時停止します。 一時停止後10分間リモコンのボタンが何も押されなかった場合、再生が再開されます。
◀▶▶	スローモーションで表示します。
⏪⏩	早送り再生、早戻し再生します。ボタンを複数回押すごとで、次のように再生速度が変わります：2倍速、4倍速、8倍速、16倍速、32倍速
♾	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。（バッテリーの残量が少ないことを示すメッセージが画面に表示された場合、[エコモード]が[最大]モードに変更され、無効になります）。
OPTION	再生に関する各種設定を行えます。
隠す	メニューが非表示になります。表示するには、OK ◎ボタンを押します。
終了	ファイル再生を終了し、[映画リスト]画面に戻ります。

[映画リスト]の設定

- 1 Q.MENU**ボタンを押します。
- 2 ▲、▼ボタンで、目的の設定項目に移動し、OK (●)ボタンを押します。**
- 3 ▲、▼、<、>ボタンで、各項目を設定します。**

動画再生設定をします。

項目	説明
アスペクト比	再生画面のサイズを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・フル：ビデオのアスペクト比に関係なく、画面全体に表示されます。 ・オリジナル：ビデオを映像のアスペクト比で表示します。
音声言語	複数のオーディオトラックがあるファイルの音声を選択します。ファイルにオーディオトラックが1つしかない場合、この設定項目は利用できません。
字幕言語	字幕の表示と非表示を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・言語：いずれかの使用可能な言語を選択できます。 ・コードページ：字幕に使用する文字セットを選択できます。デフォルトでは、字幕は[設定1] → [言語]で設定した言語で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> – 同期：字幕がビデオと同期されていない場合、字幕の速度を0.5秒単位で調整できます。 – 位置：字幕の位置を調整します。 – サイズ：字幕のフォントサイズを変更します。
リピート	繰り返し機能のオンとオフを切り替えます。オフに設定すると、次のファイルの名前が前のファイルと似ている場合には、次のファイルが再生されます。

動画再生設定

ビデオの設定を変更できます。（71ページの「映像設定」を参照してください。）

オーディオ設定

オーディオの設定を変更できます。（77ページの「オーディオ設定」を参照してください。）

BLUETOOTH

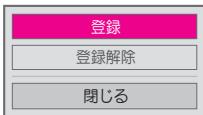
Bluetoothの設定を変更できます。（41ページの「プロジェクターのBluetoothを設定する」を参照してください。）

DivXコードの登録

DivXのプロジェクト映像を再生するためのDivX登録コードを確認します。登録は<http://vod.divx.com>で行います。

登録コードは、www.divx.com/vodで映画をレンタルまたは購入するためには必要です。

- 1** メインメニューから、[設定1]に移動し、[DivX VOD]を押します。



- 2** ▲、▼ボタンで、[登録]に移動し、OK◎ボタンを押します。



- 3** DivX [登録コード]を確認します。

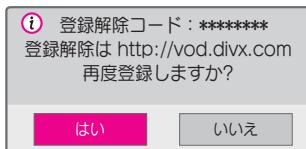
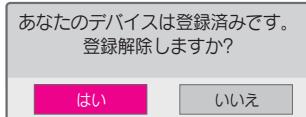
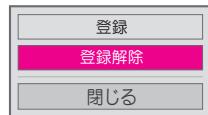
**ヒント**

- レンタル/購入したDivXファイルは、他のデバイスのDivX登録コードを使用すると再生できません。この特定のデバイスに対して付与されたDivX登録コードのみを使用してください。
- DivXコーデック標準に準拠していない変換ファイルは、再生できない場合や、音声が正しく再生されない場合があります。

DivXコードを登録解除するには

DivX DRM機能を無効にするには、DivX登録解除コードを使用します。

- 1** メインメニューから、[設定1]に移動し、[DivX VOD]を押します。
- 2** **△、▽ボタン**で、[登録解除]に移動し、**OK (◎)ボタン**を押します。



- 3** [はい]を選択します。

**ヒント**

- DRM（デジタル著作権管理）とは
DRM技術およびサービスは、デジタルコンテンツの違法な使用を防止し、著作権所有者の利益と権利を保護します。ファイルは、オンラインなどの方法でライセンスが確認された後に再生できます。

写真を表示する

接続されたデバイスに保存されている写真を表示することができます。

(サポートされている画像ファイル)

写真 (*.JPEG)

ペースライン :

64 x 64ピクセル～15360 x 8640ピクセル（幅×高さ）

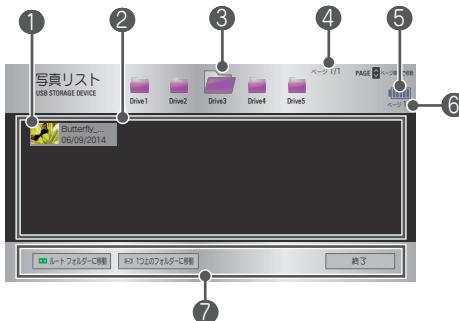
プログレッシブ :

64 x 64ピクセル～1920 x 1440ピクセル（幅×高さ）

- サポートされていないファイルは、"×"マークがついたアイコンが表示されます。
- 破損ファイル、または再生できないファイル形式の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- 破損したファイルは、適切に再生できません。
- 高解像度の画像の表示には時間がかかることがあります。

写真リストの参照

- 1** USBストレージデバイスを接続します。
- 2** **USB**ボタンを押します。
- 3** <、>ボタンで、[写真リスト]を選択し、**OK** (●)ボタンを押します。
- 4** ▲、▼、<、>ボタンで、再生するファイルを選択し、**OK** (●)ボタンを押します。



番号	説明
①	サムネイル 破損している、またはサポートされていない形式のファイル
②	ファイルリスト
③	上位のフォルダーに移動します。
④	現在のページ/フォルダーの合計ページ
⑤	バッテリー残量を表示します。
⑥	現在のページ/ファイルの合計ページ
⑦	この画面上でのリモコン操作が表示されます。 表示されたボタン（緑色、←(戻る)、EXITボタン）を押すと該当の動作が実行されます。

5 次のボタンを使用して、再生を制御します。



項目	説明
◀ ▶	前の写真または次の写真を選択します。
スライドショードー	写真をスライドショーで収録されている写真をすべて再生します。 ・[オプション]→[画像再生設定]→[スライド速度]で再生速度を調整できます。
BGM	スライドショー再生中のBGMを設定できます。 ・[オプション]→[画像再生設定]→[BGM]で音声ファイルを選択します。
⟳	写真を回転させます。 ・ボタンを複数回押すことで、時計回りで90度、180度、270度、360度に回転します。 ・サポートされている最大解像度の高さより幅が大きい場合、写真を回転することはできません。
🔍	画像の拡大ができます。 リモコンの青ボタンを複数回押すことで、200%、400%、100%に切り替わります。
◐◑	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します（バッテリーの残量が少ないことを示すメッセージが画面に表示された場合、[エコモード]が[最大]モードに変更され、無効になります）。
オプション	再生に関する各種設定を行えます。
隠す	メニューが非表示になります。 メニューを表示するには、リモコンのOK ◎ボタンを押します。
終了	ファイル再生を終了し、[写真リスト]画面に戻ります。

[写真リスト]のオプション

- 1** Q.MENUボタンを押します。
- 2** ▲、▼ボタンで、設定する項目に移動し、OK ◎ボタンを押します。
- 3** ▲、▼、<、>ボタンで、各項目を設定します。

画像再生設定

項目	説明
スライド速度	スライドショーの速度を選択します。
BGM	バックグラウンドミュージックを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・バックグラウンドミュージックの再生中に音楽フォルダーを変更することはできません。 ・バックグラウンドミュージックには、同じデバイスのフォルダーのみを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> - リピート：繰り返し再生を選択します。 - ランダム：ランダム再生を選択します。

動画再生設定

ビデオの設定を変更できます。 (71ページの「映像設定」を参照してください。)

オーディオ設定

オーディオの設定を変更できます。 (77ページの「オーディオ設定」を参照してください。)

BLUETOOTH

Bluetoothの設定を変更できます。 (41ページの「プロジェクターのBluetoothを設定する」を参照してください。)

音楽を再生する

接続されたデバイスに保存されている音声ファイルを再生できます。

サポートされている音声ファイル

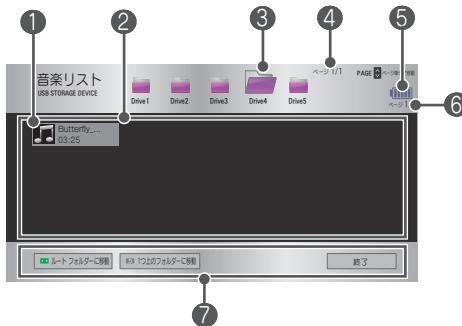
*.MP3

ビットレート範囲：32Kbps～320Kbps

- ・サンプリングレート（MPEG1レイヤー3）：32kHz、44.1kHz、48kHz
- ・サンプリングレート（MPEG2レイヤー3）：16kHz、22.05kHz、24kHz

音楽リストの参照

- 1** USBストレージデバイスを接続します。
- 2** USBボタンを押します。
- 3** <、>ボタンで、[音楽リスト]を選択し、OK (●)ボタンを押します。
- 4** ▲、▼、<、>ボタンで、再生するファイルを選択し、OK (●)ボタンを押します。



番号	説明	
	サムネイル	
①	破損している、またはサポートされていない形式のファイル	
②	ファイル リスト	
③	上位のフォルダーに移動します。	
④	現在のページ/フォルダーの合計ページ	
⑤	バッテリー残量を表示します。	
⑥	現在のページ/ファイルの合計ページ	
⑦	この画面上でのリモコン操作が表示されます。 表示されたボタン（緑色、戻る、EXITボタン）を押すと該当の動作が実行されます。	

64 マイメディア

5 次のボタンを使用して、再生を制御します。



項目	説明
◀▶	曲の早送り、早戻しができます。
■	再生を停止します。
▶	通常の再生に戻ります。
	再生を一時停止します。
◀◀▶▶	前のファイル/次のファイルを再生します。
eO	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。 (バッテリーの残量が少ないことを示すメッセージが画面に表示された場合、[エコモード]が[最大]モードに変更され、無効になります)。
オプション	音声再生に関する各種設定を行えます。
隠す	メニューが非表示になります。 • 再生バーを表示するには、OK (C) ボタンを押します。
終了	ファイル再生を終了し、[音楽リスト]画面に戻ります。

[音楽リスト]のオプション

- 1 Q.MENUボタンを押します。
 - 2 ▲、▼ボタンで、設定する項目に移動し、OK ◎ボタンを押します。
 - 3 ▲、▼、<、>ボタンで、各項目を設定します。
- オーディオ再生の設定をします。

項目	説明
リピート	音声ファイルを繰り返し再生します。
ランダム	音声ファイルをランダムに再生します。

オーディオ設定

オーディオの設定を変更できます。 (77ページの「オーディオ設定」を参照してください。)

BLUETOOTH

Bluetoothの設定を変更できます。 (41ページの「プロジェクトのBluetoothを設定する」を参照してください。)

ファイルを表示する

接続されたデバイスに保存されているドキュメントファイルを表示できます。

サポートされているファイル形式

XLS、XLSX、DOC、DOCX、PPT、PPTX、TXT、PDF、HWP

Microsoft Officeバージョン：97/2000/2002/2003/2007

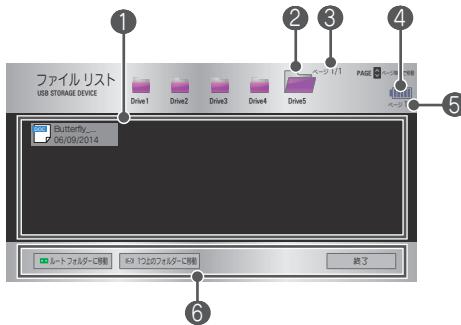
Adobe PDFバージョン：1.0/1.1/1.2/1.3/1.4

Hangulバージョン：97/2000/2002/2005/2007

- File ViewerはPCでの表示と異なることがあります。
- 画像を含むドキュメントは、解像度が低くなることがあります。
- ドキュメントのサイズが大きいか、多くのページが含まれている場合は、読み込みに時間がかかることがあります。
- サポートされていないフォントは、別のフォントで置き換えられることがあります。
- File Viewerでは、高解像度画像が含まれるOfficeドキュメントを開けないことがあります。その場合、画像のファイルサイズを小さくしてUSBストレージデバイスに保存し、File Viewerをもう一度実行するか、PCをプロジェクターに接続してPCからファイルを開いてください。

ファイル リストの参照

- 1 USBストレージデバイスを接続します。
- 2 **USB**ボタンを押します。
- 3 <、>ボタンで、[ファイル リスト]を選択し、**OK** ◎ボタンを押します。
- 4 ▲、▼、<、>ボタンで、再生するファイルを選択し、**OK** ◎ボタンを押します。



番号	説明
①	ファイル リスト
②	上位のフォルダーに移動します。
③	現在のページ/フォルダーの合計ページ
④	バッテリー残量を表示します。
⑤	現在のページ/ファイルの合計ページ
⑥	この画面上でのリモコン操作が表示されます。 表示されたボタン（緑色、戻る、EXITボタン）を押すと該当の動作が実行されます。

5 次のボタンを使用して、再生を制御します。

- ・[ページを指定]を選択します。ページ番号選択用のポップアップウィンドウが表示されます。ページ番号を入力して、目的のページに移動します。
- ・**+VOLUME**一ボタンを押して、ズームイン/ズームアウトします。
- OK (●)ボタンを押し、上/下/左/右ボタンを押して、[ページを指定]または[ズーム]に移動します。



項目	説明
ページを指定	目的のページに移動します。 ▲、▼、<、>ボタンを使用してページを選択し、OK (●)ボタンを押します。
ズーム	ドキュメントを拡大、縮小します。
オプション	File Viewerに関する各種設定が行えます。
隠す	メニューが非表示になります。 表示するには、OK (●)ボタンを押します。
終了	ファイル再生を終了し、[ファイルリスト]画面に戻ります。

[ファイルリスト]の設定

- 1 Q.MENU**ボタンを押します。
- 2 ▲、▼、<、>**ボタンで、各項目を設定します。

FileViewer オプションの設定

項目	説明	
ページごとに読み込み	オン	再生するページごとにメモリからデータを読み込んで表示します。初期の読み込みにかかる時間は短くなりますが、サイズの大きなコンテンツを含むページの表示が遅くなることがあります。
	オフ	表示を開始する前に、ファイル内のすべてのページをメモリに読み込みます。初期の読み込みにかかる時間は長くなりますが、読み込みの完了後はページをすばやく移動できます。 ファイルのサイズが大きすぎる場合、すべてのページを読み込めないことがあります。
画像の品質	ドキュメントに含まれている画像の品質を設定できます。画像の品質の設定には、[高]、[中]、[低]の設定があります。画像の品質が高いほど、表示時間が遅くなります。	
ドキュメント位置調整	ドキュメントの位置調整を高さに合わせるか、幅に合わせるかを設定します。	

FileViewerはひとつしか開けません。他のドキュメントを開く場合は、再生中のドキュメントを閉じてください。

設定のカスタマイズ

設定

- 1 **SETTINGS**ボタンを押します。
- 2 ▲、▼、<、>ボタンで、設定する項目を選択し、**OK**◎ボタンを押します。
- 3 ▲、▼、<、>ボタンで、設定の変更を行います。
- 4 終了したら**EXIT**ボタンを押します。

メニュー	説明
映像	映像の品質を調整します。
オーディオ	音質と音量を調整します。
タイマー設定	電源オフの時間に関する設定を行います。
ワイヤレス	ワイヤレスに関する設置を行います。
設定1	プロジェクターに関する基本的な設定を行います。
設定2	投影される映像に関する基本的な設定を行います。
入力	投影する入力端子を選択します。
マイメディア	USB端子に接続した外部デバイスに収録された画像、動画、音声、ドキュメントファイルを観賞できます。

映像設定

- 1** **SETTINGS**ボタンを押します。
- 2** **△、▽、<、>**ボタンで、[映像]を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 3** **△、▽、<、>**ボタンで、設定する項目への移動、設定を行います。
 - 前のメニューに戻るには、ボタンを押します。
- 4** 終了したら**EXIT**ボタンを押します。



選択可能な画像設定を次の表に示します。

メニュー	説明	
エコモード	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。（バッテリーの残量が少ないことを示すメッセージが画面に表示された場合、[エコモード]が[最大]モードに変更され、無効になります）。	
	モード	
	オフ/低/高	エコモードの強さを設定します。[高]に設定すると消費電力量を多く抑えられますが、画面の明るさが抑えられます。

72 設定のカスタマイズ

メニュー	説明	
投映モード	視聴環境や番組に合わせて投映モードを選択します。各モードは好みに合わせて画質を調整することもできます。	
	モード	
	あざやか	ビデオのビジュアル効果を最大限引き出します。 コントラスト、明るさ、シャープネスを強調して、あざやかな映像を表示します。
	標準	標準的なコントラスト、明るさ、シャープネスで映像を表示します。
	シネマ	映画用に映像を最適化します。
	スポーツ	主要な色とダイナミックな動作を強調して、スポーツ用に映像を最適化します。
	ゲーム	動きの激しい画面のゲーム用に映像を最適化します。
	カスタムモード1/ カスタムモード2	[カスタムモード]はより詳細な設定が可能です。画質を細かく設定して、好みの画質に設定することができます。
	コントラスト	画面の明るい領域と暗い領域の差を調整します。
明るさ	画面の全体的な明るさを調整します。	
シャープネス	明るい部分と暗い部分の間の境界のシャープネスを調整します。水平および垂直のシャープネスは、[カスタムモード1]/[カスタムモード2]でのみ使用できます。	
カラー	すべての彩度の強度を調整します。	
色相	赤と緑のレベル間のバランスを調整します。	
アドバンスト コントロール	詳細設定をカスタマイズします。	
映像オプション	その他映像に関する設定を行います。	
映像設定リセット	すべての映像設定を初期化します。初期化すると元には戻せなくなりますので、ご注意ください。	
アスペクト比	映像の縦横比を変更します。	

アドバンスト コントロール

メニュー	説明
ダイナミック コントラスト	スクリーンの明るさに応じて、コントラストおよびカラーが最適になるよう調整します。
ダイナミック カラー	自然な色に見えるように色を調整します。
色域	表現される色域を選択します。 • 標準：ディスプレイの機能に関係なく、入力信号の元の色を表示します。 • ワイド：ディスプレイの豊富な色を使用します。
肌色	肌色のスペクトルを個別に設定して、ユーザー定義の肌色に補正することができます。
青色の補正	青色を個別に設定できます。
緑色の補正	草木の色のスペクトル（草地や丘など）を個別に設定できます。
ガンマ	階調曲線を、映像の出入力信号の比に応じて設定します。

* 入力信号または他の映像の設定によっては、詳細な調整項目の範囲が異なる場合があります。

74 設定のカスタマイズ

カスタム詳細設定

メニュー	説明
ダイナミック コントラスト	スクリーンの明るさに応じて、コントラストおよびカラーが最適になるよう調整します。
色域	表現される色域を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 標準：ディスプレイの機能に関係なく、入力信号の元の色を表示します。• ワイド：ディスプレイの豊富な色を使用します。
エッジエンハンサー	映像のエッジを強調しつつ、自然な映像で表示します。
カラーフィルター	RGB(赤/緑/青)チャンネルをそれぞれ抽出して表示させます。この表示を元に各色の彩度と色相を調整できます。
色温度	[カスタムモード]では、より詳細な設定ができます。 ガンマ：中間色の明暗を設定します。 ガンマ値は1.9、2.2、2.4から選択できます。 a. 方法：2ポイント <ul style="list-style-type: none">- パターン：内部、外部- ポイント：低、高- 赤/緑/青：各色の調整範囲は-50～+50です。- すべての入力に適用：[色温度]の値がすべての入力モードに適用されます。 b. 方法：20ポイントIRE <ul style="list-style-type: none">- パターン：内部、外部- IRE (Institute of Radio Engineers) は、ビデオ信号のサイズを表示する単位で、5、10、15～100の範囲で設定できます。以下に示すように、各設定を微調整できます。- 輝度：調整範囲は50～500です。- 赤/緑/青：調整範囲は-50～+50です。- すべての入力に適用：[色温度]の値がすべての入力モードに適用されます。

メニュー	説明
カラー マネージメント システム	赤/緑/青/シアン/マゼンダ/イエロー各色ごとに調整します。これにより、専門家はテストパターンを使用して色相を調整できます。他の色に影響を与えずに、6色（赤/緑/青/青緑/赤紫/黄）をそれぞれ調整できます。調整後も、通常の映像で色の変化がわからないこともあります。 - 彩度 赤/緑/青/シアン/マゼンダ/イエロー、 色相 赤/緑/青/シアン/マゼンダ/イエロー、 輝度 赤/緑/青/シアン/マゼンダ/イエロー： 調整範囲は、それぞれ-30～+30です。

* 入力信号または他の映像の設定によっては、詳細な調整項目の範囲が異なる場合があります。

映像オプション

メニュー	説明
ノイズリダクション	ビデオの画面ノイズを減らします。
MPEGノイズリダクション	デジタル映像信号の作成中に生成されるノイズを除去します。
黒レベル	画面の暗さの度合い（黒レベル）を使用して、映像入力の黒レベルに合わせて画面の明るさまたは暗さを調整します。
リアルシネマ	映画の視聴用に画面を最適化します。
色温度	好みに合わせて画面の色全体を調整できます。 [暖色]、[ナチュラル]、[寒色]、または[中間]を選択します。

オーディオ設定

- 1** **SETTINGS**ボタンを押します。
- 2** **△、▽、<、>**ボタンで、
[オーディオ]を選択し、**OK**  ボタンを押します。
- 3** **△、▽、<、>**ボタンで、
設定する項目をカーソルを合わ
せて調整します。
- 前のメニューに戻るには、 ボタンを押します。
- 4** 終了したら**EXIT**ボタンを押し
ます。



選択可能なオーディオ設定を次の表に示します。

メニュー	説明	
サウンド モード	サウンドモードを設定します。	
	モード	
	標準	すべてのタイプのビデオに適しています。
	ニュース/音楽/ シネマ/スporte ツ/ゲーム	それぞれのジャンルに最適な音声に設定 します。
クリアボイ スII	プロジェクターからの音声が明瞭になります。	
自動ボリュ ーム	音量を自動的に調整します。	

タイマー設定

- 1** **SETTINGS**ボタンを押します。
- 2** **△、▽、<、>**ボタンで、
[タイマー設定]を選択し、**OK**  ボタンを押します。
- 3** **△、▽、<、>**ボタンで、
設定する項目への移動、設定を行います。
- 前のメニューに戻るには、 ボタンを押します。
- 4** 終了したら**EXIT**ボタンを押します。



選択可能な時刻設定を次の表に示します。

メニュー	説明
オフ タイマー	事前に設定した時間（10分単位）の経過後にプロジェクターがオフになります。 [オフタイマー]をキャンセルするには、[オフ]を選択します。
オート パワーオフ	入力信号を受信していないか、まったく操作がない場合、一定の時間経過後にプロジェクターの電源が自動的にオフになります。
自動 スタンバイ	プロジェクターのボタン操作がないまま一定の時間が経過すると、プロジェクターの電源を自動的にオフにします。

ワイヤレス設定

- 1** SETTINGSボタンを押します。
- 2** ▲、▼、<、>ボタンで、[ワイヤレス]を選択し、OK (●)ボタンを押します。
- 3** ▲、▼、<、>ボタンで、設定する項目への移動、設定を行います。
 - 前のメニューに戻るには、←ボタンを押します。
- 4** 終了したらEXITボタンを押します。



選択可能なワイヤレス設定を次の表に示します。

メニュー	説明	
SCREEN SHARE	SCREEN SHAREは、接続されているデバイスの画面を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • SCREEN SHAREのIDを確認できます。 	
	モード	
	グループ	これは、SCREEN SHARE機能をサポートする各デバイスのグループ設定です。ワイヤレス接続が弱いか安定していない場合は、グループ設定を調整して問題を解決します。
	チャンネル	ワイヤレス接続に使用されるチャンネルを変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> • チャンネルの検索：チャンネルの検索方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - 自動：プロジェクターが使用可能なチャンネルを検索し、最後に使用したチャンネルを自動的に選択します。 - 手動：ユーザーが手動でチャンネルを選択できます。 • チャンネル：[チャンネルの検索]が[手動]に設定されているときに表示されます。使用するチャンネル番号を指定できます。

80 設定のカスタマイズ

メニュー	説明
Bluetooth	Bluetoothオーディオデバイスから音声を出力します。 最初に、Bluetoothをオンに設定します。
	項目
	デバイスの検索
	登録済みのデバイスリスト
	AVシンク

[設定 1]の設定

- 1** **SETTINGS**ボタンを押します。
- 2** **△、▽、<、>**ボタンで、
[設定 1]を選択し、**OK** **◎**ボタン
を押します。
- 3** **△、▽、<、>**ボタンで、
設定する項目への移動、設定を行います。
- 前のメニューに戻るには、ボタンを押します。
- 4** 終了したら**EXIT**ボタンを押し
ます。



選択可能な設定 1 の設定を次の表に示します。

メニュー	説明
言語	メニューを表示する言語を選択します。
DivX VOD	DivX関連の設定を行います。
初期設定	すべてのプロジェクター設定を工場出荷時の初期設定に戻します。 初期化中に電源をオフにしないでください。
モード設定	[標準]または[ストアモード]を選択します。 家庭で使用する場合は、[標準]を選択してください。 [ストアモード]は、店頭での展示に使用されます。

[設定2]の設定

- 1 **SETTINGS**ボタンを押します。
- 2 **△、▽、<、>**ボタンで、[設定2]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 3 **△、▽、<、>**ボタンで、設定する項目への移動、設定を行います。
- 前のメニューに戻るには、**←**ボタンを押します。
- 4 終了したら**EXIT**ボタンを押します。



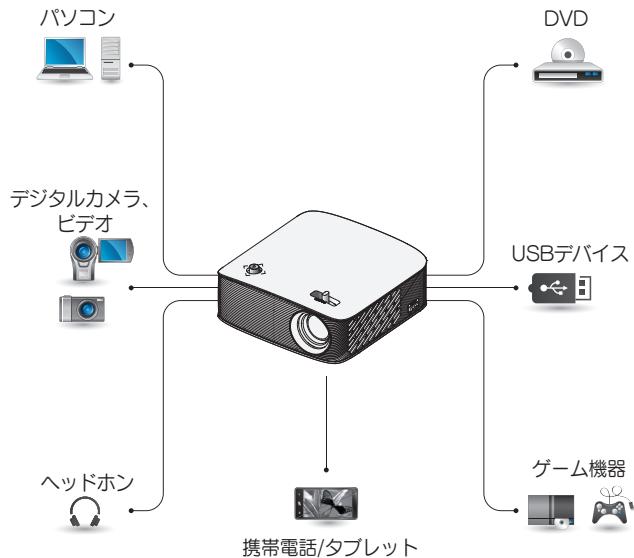
設定2の設定を次の表に示します。

メニュー	説明	
台形補正	プロジェクターと投影面が平行でない場合に、映像の水平方向、垂直方向を調整します。この機能により、投影された映像の形を補正します。 映写映像の上下左右の幅を調整します。	
自動キーストーン	[自動キーストーン]は、プロジェクターの傾きによって画面映像が台形になっている場合に、台形補正值を自動的に調整して画面映像を長方形に補正します。	
	項目	
	オン	台形補正值を自動的に調整します。
	オフ	台形補正值を手動で調整します。
投写位置	この機能を使用すると、投写される映像の上下または左右が逆になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 別売りの透明画面の裏側から映写する場合は、[リア]を選択します。 • 天井に製品を取り付けた場合は、[フロント天吊り]を選択します。 	

メニュー	説明	
高高度	<p>標高1200mよりも高い場所でプロジェクターを使用する場合は、この設定をオンにしてください。</p> <p>オフのまま使用すると、プロジェクターが過熱したり、保護機能が有効になることがあります。その場合は、プロジェクターの電源をオフにして、数分待ってから再度オンにしてください。</p>	
プランク	プランクの背景の色を選択します。	
自動電源	アダプターブラグを差し込んだときに、プロジェクターの電源が自動的にオンになるかを設定します。	
	項目	
	オン	AC/DCプラグをプロジェクターに接続すると自動的にオンになります。
自己診断	オフ	
	AC/DCプラグをプロジェクターに接続するとスタンバイモードになります。	
自己診断	製品の使用中に発生する可能性がある機能の問題の自己診断を行います。	

デバイスを接続する

さまざまな外部デバイスをプロジェクターのポートに接続できます。



HDMI - ページ 85

USBデバイス - ページ 46

ヘッドフォン - ページ 87

携帯電話 (MHL/スリムポート) - ページ 88

HDレシーバー、DVD プレーヤー、外部デバ イスへの接続

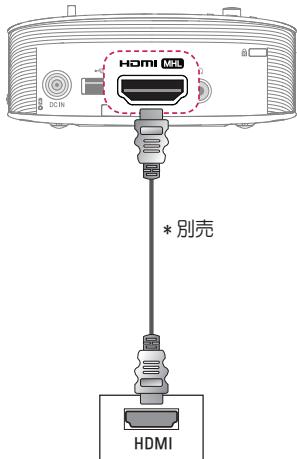
HDレシーバー、DVDプレーヤー、
外部デバイスをプロジェクターに
接続し、適切な入力モードを選択
します。

HDMI接続

HDMIケーブルでデジタル接続し
て、高品質な映像とサウンドをお楽し
みいただけます。

HDMIケーブルで、プロジェクタ
ーの**HDMI MHL**(HDMI入力端子)
を、接続デバイスのHDMI出力端子
に接続します。 映像信号と音声信
号両方が伝送されます。

リモコンの**INPUT**ボタンを押し
て、[HDMI]を選択します。



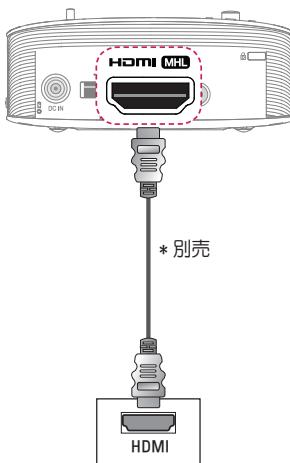
PCへの接続

プロジェクターはプラグアンドプレ
イに対応しています。 PCは自動的
にプロジェクターを認識するので、
ドライバーをインストールする必要
はありません。

HDMI接続

HDMIケーブルで、プロジェクタ
ーの**HDMI MHL**(HDMI入力端子)
とPCのHDMI出力端子を接続しま
す。 映像信号と音声信号両方が伝
送されます。

リモコンの**INPUT**ボタンを押し
て、[HDMI]を選択します。



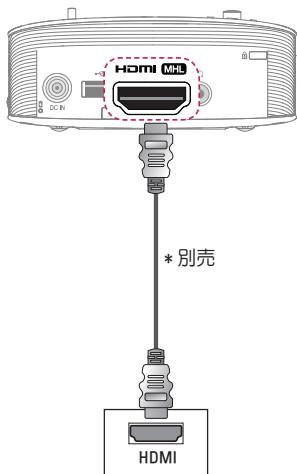
ノートPCの接続

プロジェクターをノートPCに接続して、さまざまな機能を使用できます。

HDMI接続

HDMIケーブルで、プロジェクターの**HDMI MHL** (HDMI入力端子)とノートPCのHDMI出力端子に接続します。映像信号と音声信号両方が伝送されます。

リモコンの**INPUT**ボタンを押して、[HDMI]を選択します。

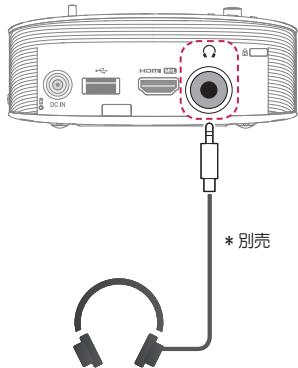


下表は出力切り替えの例です。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書の「外部出力」、「外部モニターへの接続」などの項を参照してください。

ブランド	出力の切り替え
NEC	Fn + F3
Panasonic	Fn + F3
TOSHIBA	Fn + F5
IBM	Fn + F7
Sony	Fn + F7
富士通	Fn + F10
LG	Fn + F7
SAMSUNG	Fn + F4
Macintosh	起動後コントロールパネルを調整してミラーリングを有効化します。

ヘッドホンの接続

ヘッドホンでオーディオを聞くこと
ができます。



携帯電話のミラーリング機能の使用

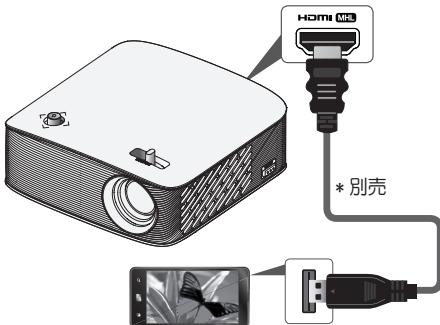
MHL/スリムポートの接続

HDMIアダプターを使用して、携帯電話をプロジェクターに接続し、携帯電話の映像、音声をプロジェクターに出力することができます。

互換性のあるHDMI変換は、携帯電話によって異なります。

形状をよくお確かめの上、適切なMHLまたはスリムポート変換ケーブルまたはコネクタをご用意ください

(お使いのデバイスがMHL/スリムポートに対応しているかは、携帯電話の製造元にお問い合わせください)。



ヒント

- 携帯電話を **HDMI MHL** に接続すると、携帯電話の画面をプロジェクターで表示できます。
 - この機能はMHL/スリムポート対応の携帯電話のみ使用できます。
 - 一部のアプリケーションではリモコンを使用できます。
- 次の場合は、MHL/スリムポートケーブルをプロジェクターから外してください。
 - MHL/スリムポート機能が無効の場合。
 - 携帯電話がスタンバイモードで完全充電されている場合。

メンテナンス

最高の状態に保てるように、プロジェクターを定期的にメンテナンスしてください。

お手入れ

レンズのお手入れ

レンズの表面にほこりや汚れが付いている場合は、レンズを清掃してください。

エアスプレーか、清掃用クロスでレンズを拭いてください。

ほこりや汚れを落とすには、エアスプレーを使用するか、綿棒またはやわらかい布に少量の洗浄液をしみませてレンズを軽く拭いてください。

洗浄液のスプレーをレンズに直接噴射しないでください。洗浄液がレンズ内に入るおそれがあります。

筐体のお手入れ

筐体を清掃するときは、電源コードを抜いてください。

ほこりや汚れを落とすには、研磨剤が含まれていない、糸くずの出ない乾いた布でやさしく拭いてください。

アルコール、ベンゼン、シンナーなどの高揮発性溶剤は使用しないでください。

トラブルシューティング

以下の内容を確認してください。以下の内容にしたがって操作しても症状が改善されない場合はLG Electronics Japanカスタマーセンターにご相談ください。

全般

問題	解決法
プロジェクターの電源を入れてから映像が完全に表示されるまで時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクター起動直後にノイズが発生することがあります。起動後しばらくするとノイズはなくなります。

画質

問題	解決法
水平または垂直に揺れる線、および網目模様が瞬間に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 強い電気的な干渉がある場合、このような問題が発生する可能性があります。携帯電話や電動工具などの電子機器、およびその他の家電製品の電源はオフにしてください。
HDMI®接続しているとき、表示されない、または映像が不鮮明。	<ul style="list-style-type: none"> HDMI®ケーブルの仕様を確認してください。純正または、HDMI認証されていないHDMI®ケーブルを使用すると、適切に表示されないことがあります。 すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。しっかりと接続されていないと、映像が適切に表示されないことがあります。
USBストレージデバイスで動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> USBデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。

サウンド

問題	解決法
映像が表示されているのに、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクターの音声出力の設定が正しいか確認してください。 PCとアナログ接続をしている場合、DVI変換を使用して接続している場合、音声データは伝送されません。別途音声ケーブルを接続してください。
HDMI/USBに接続しているとき、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> ハイスピードHDMI®ケーブルを使用していることを確認してください。 USBデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。 通常の音楽 (*.mp3) ファイルのみを使用してください。

PC接続の問題

問題	解決法
パソコン接続時に映像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターとプロジェクターがしっかりと接続されていることを確認してください。 リモコンでプロジェクターの電源をオフにして再度オンにしてください。 プロジェクターをオンにした状態でPCを再起動してください。 解像度がPC入力用に正しく設定されているかどうかを確認してください。 HDMIケーブルを再度接続してください。
パソコンとHDMI接続したとき、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオカードでHDMI音声出力がサポートされていることを確認してください（DVI形式のビデオカードでは、別の音声ケーブルを接続する必要があります）。 パソコンの音量が適切か確認してください。
コンピューターに接続すると、表示が部分的に欠損したり、偏ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> PC入力をサポートするように解像度を設定してください（それでも解決しない場合は、コンピューターを再起動します）。

マイメディアでのムービーの再生に関する問題

問題	解決法
動画リストのファイルを視聴できない。	<ul style="list-style-type: none"> USBストレージデバイスのファイルをコンピューターで読み取れるかどうかを確認してください。 ファイル拡張子がサポートされているかどうかを確認してください。
「このファイルは無効です」というメッセージが表示されるか、音声が聞こえるのに映像表示が正常でない。	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターのビデオプレーヤーでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルの損傷を確認します）。 解像度がサポートされているかどうかを確認してください。 ビデオと音声のコーデックがサポートされていることを確認してください。 フレームレートがサポートされていることを確認してください。
「音声がサポートされません」というメッセージが表示されるか、映像表示が正常なのに音声が正常でない。	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターのビデオプレーヤーでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルの損傷を確認します）。 音声コーデックがコンピューターによってサポートされているかを確認してください。 ビットレートまたはサンプルレートがサポートされていることを確認してください。
字幕が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターのビデオプレーヤーでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルの損傷を確認します）。 ビデオファイルの名前が字幕ファイルの名前と同じであるかどうかを確認してください。 ビデオファイルと字幕ファイルが同じフォルダにあることを確認してください。 字幕ファイルの形式がサポートされていることを確認してください。 字幕の言語がサポートされていることを確認してください（字幕ファイルを[メモ帳]で開いて言語を確認できます）。

- 表示されている図は、実際のプロジェクトと異なる場合があります。
- 保守の要求方法については、次のメニューを参照してください。
SETTINGSボタンを押してメインメニューを開き、カスタマーサポート（赤のカラーキー）→ 製品・サービス情報

仕様

モデル	PH150G (PH150G-GL)
解像度（ピクセル）	1280（横）× 720（縦）
アスペクト比	16:9（横：縦）
パネルサイズ	9.398mm
映写距離（ビデオサイズ）	335mm ~ 3491mm (254mm ~ 2540mm)
上向き映写の比率	100%
リモコンの稼動範囲	6m
消費電力	35W
AC-DCアダプター	19V --- 1.7A (アダプター入力100-240V @ 50/60Hz)
音声出力	1W
高さ	44.3mm（脚なし）、45.2mm（脚あり）
幅	115mm
奥行	115mm(レンズなし) / 115.1mm(レンズあり)
重量	0.46kg
USBデバイス	5V、0.5A（最大）
使用環境	温度
	動作 0°C~40°C
	保管 -20°C~60°C
	相対湿度
	動作 0%~80%
	保管 0%~85%

* 取扱説明書に記載された電源のみを使用してください。

* この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の通知なしに変更されることがあります。

Wireless モジュール仕様

Wireless モジュール (LGSBW41) 仕様			
	Wireless LAN	Bluetooth	
動作環境	IEEE 802.11a/b/g/n	動作環境	Bluetooth
使用周波数	2400 - 2483.5MHz 5180MHz、5190MHz、 5200MHz、5220MHz、 5230MHz、5240MHz	使用周 波数	2400 - 2483.5MHz
無線出力	802.11a: 13dBm 以下 802.11b: 15dBm 以下 802.11g: 14dBm 以下 802.11n - 2.4GHz: 16dBm 以下 802.11n - 5GHz: 16dBm 以下	無線出力	10dBm 以下

- 電波法により5 GHz帯は屋内使用に限ります。



1 Wi-Fi

この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

2 For Bluetooth

この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10m です。

<本製品の使用上の注意事項>

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えは、パーティションの設置など)についてご相談して下さい。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

サポートされるHDMI (PC) モード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 350	31.468	70.09
720 x 400	31.469	70.08
640 x 480	31.469	59.94
800 x 600	37.879	60.31
1024 x 768	48.363	60.00
1152 x 864	54.348	60.053
1280 x 720	45	60
1280 x 1024	63.981	60.020
1440 x 900	55.935	59.888
1400 x 1050	65.317	59.979
1600 x 900	60	60
1680 x 1050	65.29	59.954
1920 x 1080	67.5	60

- プロジェクターに無効な信号が入力された場合は、画面に適切に表示されないか、[信号がありません]または[対応していないモード]というメッセージが表示されます。
- プロジェクターは、DDC1/2Bタイプをプラグアンドプレイ機能 (PCモニターの自動認識) としてサポートしています。
- PCモードで最高の画質を得るには、1280 x 720の解像度を使用することをお勧めします。

サポートされるHDMI-DTVモード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480p	31.47	60
	31.47	59.94
	31.50	60
576p	31.25	50
720p	45.00	60.00
	44.96	59.94
	37.5	50
1080i	33.75	60.00
	33.72	59.94
	28.125	50
1080p	67.500	60
	67.432	59.939
	27.000	24.000
	26.97	23.976
	33.75	30.000
	33.71	29.97
	56.25	50

- 最適な映像品質を得るには、720p の解像度をお勧めします。

オープンソースソフトウェア知情報

本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、<http://opensource.lge.com>をご参照ください。

ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保障責任がないという表示をダウンロードできます。

本製品をお買い求めてから3年以内に、本製品に搭載されているソフトウェアのオープンソースコードをEメール(opensource@lge.com)にてお求めになる場合、媒体の費用や送料など、必要な最小限の費用をお支払いいただきながら、CD-ROMにてご提供いたします。



プロジェクターのモデルおよびシリアル番号は、プロジェクターの背面または側面に記載されています。保守が必要になった場合に備えて、下記にご記入ください。

モデル _____

シリアル番号 _____